



だより



R6.2.20 Vol.38

校内マラソン大会！

無事！終了しました！子供たちの頑張り！良かったですね～。保護者の皆さんの応援もきっとパワーになったことと思います。

明らかに昨年度より「頑張ろう！」という気持ちが全体の雰囲気に出ていました。前日、「調子が悪いから見学します。」と言っていた子供も、当日は「やってみるだけやってみます！」と見事、完走していました。結果に納得できなかったのか、悔し涙を流している子供もいました。

これまで一生懸命取り組んでいたからこそ！ではないかと思えます。

しんどいこと、つらいことから逃げよう、上手に手を抜こう、そんな空気が減ってきています。

変わってきています。



大丈夫と思えば絶対！！大丈夫なんです！

ある職員が↑こんなことを言っていました。

元来、心配性の私には、到底たどり着けない境地かもしれません(笑)。しかし、この言葉、意外と真理をついているのかも！とも感じます。

例えば何かハマをしたとしましょう。やらかした本人、その時は、この世の終わりのような気持ちになるかもしれませんが、時間が経てみれば、落ち着くところに落ち着いていること、よくありませんか？(早い人ならその日の夜には、もう忘れてるとか。笑)「あの時は焦ったよなあ。」と笑い話になっていることがほとんどですよ。『心配事の99%は現実にならない』なんて話を聞いたこともあります。1%を気にしてストレスをためるか、99%を信じて前向きに考えるか。準備を怠るのではなく、やることやったら「後は野となれ山となれ！」くらいの方が心身にもいいかもしれませんね。合言葉！ドンマイ！

四方山話令和5年度 ver.其の三十八(周南市に行ってきました！)

15日と16日、5、6年生の子供たちと山口県は周南市に行ってきました。ツルつながりの交流です。コロナ禍の中、交流が途絶えていたのですが、今年のはめでたく復活しました。2日間とても楽しかったのではないかと思います。

- 「保健の先生の娘さんは、将来何がしたいんですか？」「研究者になりたいみたいなんよ」
「研究者って救急車みたいなんですか？」「うん！ちょっと違うかな。」
- 「先生！覚せい剤は飲んじゃダメなんですよ！」「え？いきなり何？飲んだらどうなるの？」
「間違いなく下痢します！」「え？そんなもん？」
- 「♪いけないんだ！いけないんだ！先生に言ってやろ！♪』『昔の先生はえらかったんやねえ。』
- 「先生！八幡浜にイオンってありますよね？」「いや、八幡浜にはないよ！」「え？フジの中にありますよ！」
「ないって！だって先生、八幡浜の人やもん！」「えー！ありましたって！…あ…エディオンやった…。」
- 船中での昼食、海を見ながら弁当を食べていると…。
「校長先生！こっちおいでや！一緒に食べよ！」「うん？あ！ありがとう！」
「一人は寂しいやろ？」「お？おお おう…。」
- 「今日の夜は、僕4升ご飯食べました！」「うそつけ！そんなに食べれんやろ！」
「ごめんなさい 嘘です！3合です！」

升や合で表現するところがさすが米どころ！石城っ子！3合でも十分すごいですよね。そうそう、八代小での集会では、よく通る声で分かりやすく発表できていました。これまでの学習の成果だと感じます。一方で、大浴場の湯船にタオルをつけたり、船内容室の枕を蹴ってみたり…。公共マナーも教えていきたいですね。